

第3回例会 可決した案

区長提出議案

●平成25年度中野区一般会計補正予算(第2次)

歳入歳出にそれぞれ18億8416万円を追加し、予算額は1188億1515万1千円となりました。

主な内容は、待機児童の解消に向けた取組を加速化させるため、賃貸物件等を利用して認可保育所を開設する事業者に対し、改修費及び賃借料を補助する経費や財政調整基金積立金の追加計上などです。

●平成25年度中野区介護保険特別会計補正予算

歳入歳出にそれぞれ4420万8千円を追加し、予算額は199億520万8千円となりました。

●中野区歌に関する審議会設置条例

中野区歌を制定するに当たり、区長の附属機関として、中野区歌に関する審議会を設置し、その所掌事項、委員の構成、会議等について定めるものです。

●災害対策用備蓄物資の買入れについて

災害対策用物資として備蓄するサバイバルブランケット、エアーマットの購入に当たり、議決をしたものです。

●中野区特別区税条例の一部を改正する条例

①延滞金の割合の特例について見直しを行うもの

②公的年金等に係る所得に係る区民税の特別徴収に関する規定を改めるもの

③住宅借入金等特別税額控除の適用期限の延長及び限度額の拡充について規定するもの

④公社債等及び株式等に係る所得に対する課税について見直しを行うもの

●中野区保育所条例の一部を改正する条例

橋場保育園の位置を変更するもの

●指定管理者の指定について

宮園保育園の指定管理者を指定するに当たり、議決をしたもの

●指定管理者の指定について

宮の台保育園の指定管理者を指定するに当たり、議決をしたもの

●中野中学校新校舎建設工事請負契約に係る契約金額の変更について

賃金水準が上昇したことに伴い工事金額を増額する必要が生じたため、契約金額を23億6310万2千円から24億5399万9千円に変更するに当たり、議決をしたもの

●中野区保育所における保育に関する条例の一部を改正する条例

保育料及び延長保育料の額を改定するとともに、保育サービスに係る利用者負担額の適正化のための措置について規定するもの

議員提出議案

●議員の派遣について

第24回東京都道路整備事業推進大会に議員を派遣するもの

●意見書(2件・次項に掲載)

議案に対する討論

議案の審議にあたり、次の議員が討論を行いました。中野区保育所における保育に関する条例の一部を改正する条例

◆反対討論

岩永 しほ子 (共産) (審議結果 可決)

第3回例会 可決した案 意見書

◆地方税財源の拡充に関する意見書

真の分権型社会を実現するためには、国と地方の役割分担を明確にし、地方がその責任と権限に応じた役割を果たせるよう、地方税財源の拡充を図る必要がある

すなわち、地方全体で巨額の財源不足が生じている中、まずは国から地方への税源移譲を行うことなどにより、地方税財源の拡充を図ることが重要であり、平成20年度税制改正で導入された地方税特別税及び地方税特別譲与税のように、地方固有の税を地方間の財源調整に用いるような対応は、厳に慎まなければならない

〈衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣あて〉

◆若い世代が安心して就労できる環境等の整備を求める意見書

ライフスタイルの多様化や少子高齢化により、若い世代の働き方や暮らし方が変化しています。非正規労働者や共働き世帯が増えた今、若い世代が本来望んでいる仕事と生活の調和が崩れ、理想と現実のギャップに悩む人が少なくありません

中でも、働く貧困層といわれるワーキングプアから抜け出せずに結婚を諦めざるを得ない若い世代の増加や、仕事と子育ての両立に悩む女性の増加、正規雇用でありながら過酷な労働環境で働き続けることができない若年労働市場の実態など、今の若い世代を取り巻く問題は多岐にわたります

中野区には、急激に押し寄せる高齢化への対応や、高度成長期に全国に先駆けて建設された多くの公共施設が改築時期を迎えているなど、大都市特有の財政需要が存在しており、税収の多さのみに着目して、財政的に富裕であると断ずることとは適当ではない

限られた地方税による調整では、地方財政が直面している問題の根本的な解決にはつながらない

よって、中野区議会は、国会及び政府に対し、限られた地方税源の中で財源調整を行うのではなく、地方が担う権限と責任に見合う地方税財源の拡充という本質的な問題に取り組むよう強く要請する

一、世帯収入の増加に向けて、政労使による「賃金の配分に関するルール」作りを進めること。また、正規・非正規間の格差是正、子育て支援など、総合的な支援を行うとともに、最低賃金引き上げに向けた環境整備を進めること

二、労働環境が悪いために早期に離職する若者も依然として多いことから、劣悪な労働環境下で仕事を強いる企業に対して、違法の疑いがある場合等の立入調査の実施や悪質な場合の企業名の公表などを検討し、対策を強化すること

三、個人のライフスタイルに応じた多様な働き方を可能とするために、地域限定や労働時間限定の正社員など多元的な働き方を普及・拡大する環境整備を進めるとともに、短時間正社員制などの導入を促進すること

四、仕事や子育て等に関する行政サービスについて、若い世代への支援策がより有効に実施・活用されるよう、利用度や認知度の実態を踏まえ、必要な運用の改善や相談窓口等の周知、浸透等に努めること

〈内閣総理大臣、厚生労働大臣あて〉



国民体育大会 デモンストレーションとしてのスポーツ行事 開始式

平成25年9月28・29日に、中野体育館で、第68回国民体育大会「デモンストレーション」としてのスポーツ行事である「フットボール」が行われました。(1面に関連写真掲載)

